

IZUTSUYA

IZUTSUYA

第130期

# 事業のご報告

2024年3月1日から  
2025年2月28日まで

IZUTSUYA

IZUTSUYA

## 井筒屋は

# 「奉仕こそ繁栄の基」

という奉仕の精神を日常の実践的心構えとし

# 「秩序のうえに立つ創造的繁栄」

をはかることを経営理念と定めています。

## 目 次

株主の皆様へ	1
事業の経過およびその成果	2
対処すべき課題	4
トピックス	5
井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画	6
CSR活動	7
人的資本経営の取り組みについて	8
財産および損益の状況の推移(連結)	9
連結子会社	9
財産および損益の状況の推移(個別)	10
商品別売上高(個別)	10
財務諸表(連結)	11
(個別)	13
井筒屋グループ百貨店	
および主要なショップ	15
株式の状況	17
会社の概要	18
従業員の状況	18
取締役、監査役および執行役員	18
株主優待制度のご案内	19
株主メモ	20
ホームページのご案内	21

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、さる2月末日をもって第130期(2024年3月1日から2025年2月28日まで)事業年度を終了いたしましたので、事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。



代表取締役  
社長執行役員

松本 圭

取締役  
会長執行役員

影山 英雄

本年5月22日開催の第130回定時株主総会およびその後の取締役会において、影山英雄は代表取締役社長執行役員から取締役会長執行役員に、松本圭が新たに代表取締役社長執行役員に就任いたしました。

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善される中、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、対外情勢の及ぼす影響や海外景気の下振れリスク、原材料価格の高騰や物価の上昇など懸念材料も多く、個人消費におきましても、いまだ景気回復を実感するには至っておりません。

百貨店業界におきましては、行動制限解除後の外出機運の高まりで人流が増加したうえ、訪日外国人観光客の急回復によって、大都市部の基幹百貨店を中心とした商況に著しい回復がみられました。しかしながら、インバウンド需要の小さい地方都市ならびに郊外立地の百貨店は、厳しい商況が続いております。

こうした状況の中、当社グループにおきましては、従来型の規模や量を追求する事業モデルを見直す契機と捉え、量から質への新たな事業モデルへの道筋をつける「井筒屋グループ中期3カ年経営計画(2022年度～2024年度)」を策定し、推進してまいりました。最終年度となる当期は前期から引き続き、百貨店らしさの追求をテーマに、好調カテゴリーの強化を図り、店舗価値の向上および売場の活性化に努めるとともに、効率的な経費運用による収益性の確保にも取り組んでまいりました。

当社グループの業績につきましては、売上

高は221億58百万円(前期比98.4%)、営業利益は10億40百万円(前期比104.3%)、経常利益は持分法による投資損失1億52百万円等の計上により、7億41百万円(前期比78.3%)、また、繰延税金資産の回収可能性を見直したことにより、法人税等調整額(益)を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は9億99百万円(前期比103.4%)となりました。

なお、百貨店業の代理人取引を総額に置き換えた場合の売上高は、538億39百万円(対前期比0.4%減)であります。

	井筒屋グループ	株式会社井筒屋
売上高	22,158百万円 (前期比 98.4%)	18,660百万円 (前期比 98.5%)
営業利益	1,040百万円 (前期比 104.3%)	1,009百万円 (前期比 103.0%)
経常利益	741百万円 (前期比 78.3%)	855百万円 (前期比 101.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	999百万円 (前期比 103.4%)	—
当期純利益	—	1,120百万円 (前期比 129.9%)

### 【百貨店業】

当社グループの主要事業であります百貨店業におきましては、引き続き高額品が牽引する中、百貨店らしさの追求を普遍的な基本方針と位置付けたうえで、デジタル推進をはじめ、商品・サービス力強化の取り組みを推し進めております。

デジタル推進といたしましては、4月より「井筒屋アプリ」を導入し、お客様の利便性向上を図るとともに効果的な営業施策を実施できる体制を構築いたしました。登録会員数も計画を大幅に上回って進捗しており、お客様からもお買物が便利になったとご好評いただいております。

サービス力強化といたしましては、自社カードのポイント制度を刷新し、年間購買金額に応じたポイントランク制度を設けるとともに、お客様からご要望の多かった貯まったポイントを「1ポイント=1円」から利用できるようシステム改修を実施いたしました。

商品力強化といたしましては、好調カテゴリーの強化として、地階食品売場にポップアップ専用イベントスペース「食品メッセージラボ」をオープンいたしました。通常お取扱いのない人気ブランド「たねや」や「Tartine(タルティン)」、「紀ノ国屋」など期間限定イベントを開催することで、お客様から大変ご好評いただいております。

また、本館2階の時計サロンでは「グランドセイコーブティック」「グラスヒューテ・オリジナル」がオープン、本館5階には「モンブラン」が筆記用品だけでなくバッグや革小物など展開アイテムを拡充してリニューアルオープンし、高額品を求めるお客様ニーズにも対応いたしました。

幅広い顧客ニーズへの対応として、北九州初開催の北欧デンマーク発の雑貨ストア「フライングタイガーコペンハーゲン」ポップアップストアを本館7階にて、全国的にも人気の催事「文具の博覧会」を本館8階催事場にて開催し、多くのお客様がご来

店されました。また、新館4階にカジュアルなライフスタイル提案ショップ「デッサン」をオープンし、次世代顧客層の取込みを強化しております。

催事に関しましては、初企画として、能登半島地震復興支援特別企画「加賀能登物産展」をはじめ、北九州近郊の京築地域の話のグルメや特産品を集めた「京築のグルメと特産品フェア」を開催いたしました。また、20年ぶりに「沖縄展」を開催するなど、連日多くのお客様で賑わいました。

イベントに関しましては、メモリアルワンストップサービス「MUSUBI(結び)」の開設1周年記念イベントとして「健活・悠活・終活フェア」を開催。健康、くらし、趣味をはじめ、資産運用、保険、相続相談まで長寿社会を生き生き過ごすために役立つ商品・情報を各ブースにて展開いたしました。多くのお客様がご来場され、大変ご好評いただきました。

2025年は、創業90年の節目を迎える年となりますが、1月初売りより「創業90周年企画」をスタートいたしました。福袋をはじめ、各フロアでの企画商品に加え、従来の物産催事「大江戸展」や「ショコラスペシャルite」などでも90周年特別限定商品を展開するなどこれまで井筒屋を支えていただいた地域のお客様に、年間を通して様々な形で、感謝の気持ちを伝えてまいります。

山口店におきましては、1階の特設会場を活用し、全国各地の「食品のお取り寄せ販売会」や「ミニチュアドールハウスフェア」など多くの新規催事・イベントを実施いたしました。また、婦人服を中心とした新規ブランド導入を行い、新しいお客様の取込みにも寄与しております。

本店との商品供給における連携強化といたしましては、引き続き本店で取扱いのあるラグジュアリーブランドの販売会や本店特選会へのご招待など送客を図ることで売上の拡充に努めております。

今後も本店・山口店を旗艦店と位置付け、お客様に喜ばれる取組を進めてまいります。

当社グループの業績につきましては、売上高は221億23百万円(前期比98.4%)、営業利益は10億92百万円(前期比106.6%)となりました。

#### 【友の会事業】

友の会事業におきましては、売上高は35百万円(前期比87.5%)、営業利益は32百万円(前期比61.6%)となりました。

#### 対処すべき課題

今後の経済環境につきましては、雇用・所得環境の改善の下、景気は緩やかな回復が続くものと期待されますが、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価の上昇、通商政策など米国の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響が懸念されるなど、引き続き注意が必要な状況にあります。

このような状況の下、当社グループでは、新たに「井筒屋グループ中期3ヵ年経営計画(2025年度～2027年度)」を策定いたしました。創業100周年を迎える2035年に向け、地域唯一の百貨店として、地域経済・社会の発展に貢献することを目指

してまいります。本中計の3年間では、90年という年月をかけて築いてきた井筒屋の強みである、「顧客基盤」、「店舗」、「井筒屋ブランド」、「人的資本」の4つの資産価値の向上に取り組んでまいります。

対処すべき課題といたしましては、次の通りであります。

- 百貨店らしさの追求として、引き続き好調カテゴリーの強化を図るとともに、幅広い世代のお客様に喜んでいただける売場の構築に努め、店舗価値の向上および売場の活性化を図ってまいります。
  - デジタルを基軸とした営業施策の強化として、井筒屋アプリの会員拡大およびお客様の嗜好に沿った効果的な情報配信を進めてまいります。あわせて、ネットショッピング事業の強化や、SNSを活用した国内外の新規顧客の獲得等にも努めてまいります。
  - 将来的に安定した収益を確保するため、地域と連携した事業の展開や、新規事業の検討・展開を行ってまいります。
  - 経営基盤強化のため、人的資本への投資による生産性の向上や、財務・資本戦略の策定、サステナビリティ経営等に取り組んでまいります。
- 以上を当社グループの対処すべき課題とし、創業100周年に向け、将来にわたる安定的な収益基盤の確立と、財務体質の健全化に努めてまいります。
- 株主の皆様には倍日のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年5月

代表取締役 松本 圭

## トピックス

### 〈本館 2階〉ニューオープン



#### グランドセイコーブティック

ブランドの世界観や歴史を最も深く体験することのできる、全世界のグランドセイコーの取扱店の旗艦となる特別なブティックです。未来へと続くグランドセイコーの世界を体感できるフラッグシップブティックです。

### 〈本館 2階〉ニューオープン



#### グラスヒュッテ・オリジナル

グラスヒュッテ・オリジナルの工房では、最高級の時計製造技術と伝統的なクラフツマンシップが融合し、精度と美しさに対して妥協のない完璧な機械式時計を作り上げています。グラスヒュッテ・オリジナルの時計の特徴的な機能をご覧ください。

### 〈本館 5階〉リニューアルオープン



#### モンブラン

「モンブラン」が筆記用品だけでなくバッグや革小物など展開アイテムを拡充してリニューアルオープンいたしました。

### 〈新館 4階〉ニューオープン



#### デッサン

レディース・キッズ・ユニセックスアイテムを展開いたします。青と白を基調としたのびやかな雰囲気の内では、オリジナルの Apparel アイテムや雑貨、バイイングアイテム、観葉植物などライフスタイルに馴染む幅広いアイテムを取り揃えております。

### 〈催事〉大江戸展



#### 大江戸展&ショコラスペシャルテ

2025年は、創業90年の節目を迎える年となりますが、従来の物産催事「大江戸展」や「ショコラスペシャルテ」などでも90周年特別限定商品を展開するなど、これまで井筒屋を支えていただいた地域のお客様に、年間を通して様々な形で、感謝の気持ちを伝えてまいります。

### 〈催事〉ショコラスペシャルテ



### 〈井筒屋アプリ〉IZUTSUYA APP



#### アプリでいろいろ便利に!お得に!あなただけに!

- アプリ限定クーポン**  
アプリ会員登録の特別なサービスや特典が受けられるクーポンをプレゼントいたします。
- 井筒屋インフォメーション**  
店舗のイベント情報やショップの情報など、最新情報をいつでもご覧いただけます。アプリ限定のお得な情報をお届けいたします。
- スタンプ機能**  
お客様でのお買物でお見上げ金額に応じてスタンプが貯まるスタンプカードをアプリに集約。貯まったスタンプでお得なサービスや特典が受けられます。
- オンラインショッピング**  
アプリから井筒屋オンラインショッピングに簡単アクセス。スマホで簡単に欲しいものをそのまま購入いただけます。
- マイページ機能**  
お客様の会員情報の変更、スタンプ情報やポイント残高、購入履歴などを確認いただけます。
- お持ちのカードをスマホに集約**  
アプリの中にカード情報を集約いただくスマートフォンひとつでお買物ができます。クレジットカードでのお買物がポイントを集約しながら、スマホひとつでご利用いただけます。また、ポイント残高もご確認いただけます。
- 連携できるクレジットカード**  
クレジットカード  
クレジットカード  
クレジットカード  
クレジットカード  
クレジットカード  
クレジットカード
- 連携できるクレジットカード**  
クレジットカード  
クレジットカード

### 〈新館 7階〉1周年記念イベント



#### MUSUBI

メモリアルワンストップサービス「MUSUBI(結び)」の開設1周年記念イベントとして「健康・悠活・終活フェア」を開催。健康、くらし、趣味をはじめ、資産運用、保険、相続相談まで長寿社会を生き生き過ごすために役立つ商品・情報を各ブースにて展開いたしました。

## 井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画(2025年度～2027年度)について

当社グループでは、「井筒屋グループ中期3ヵ年経営計画(2025年度～2027年度)」を策定いたしました。本計画につきましては、創業100周年を迎える2035年に目指す姿を定め、当社の資産価値向上を図ることにより、安定的な収益を確保する体制構築に努めてまいります。

## 1. 当社グループのビジョン

**グループビジョン:「地域小売業のリーディングカンパニーとして発展していく」**

**2035年(創業100周年)に目指す姿:「地域唯一の百貨店として、地域経済・社会の発展に貢献する」**

グループビジョンを反映した“2035年に目指す姿”を設定し、本中計の3年間では、井筒屋が90年をかけて築いてきた資産である「店舗、顧客基盤、井筒屋ブランド、人的資本」の価値向上を図ってまいります。

## 【取組指針】

- ・百貨店らしさの追求により、地域唯一の百貨店として存続・発展し続ける
- ・地域の賑わいの中心として、幅広い層のお客様が訪れ、地域商圏の活性化を牽引する
- ・ライフステージ・スタイルにおける様々なニーズに応え、地域の方々の生活の質向上に貢献する
- ・地域の魅力溢れる商品の発掘・改良・新規開発に取り組み、地域の稼ぐ力の拡大に寄与する

## 2. 戦略の方向性

## ●百貨店らしさの追求

店舗におけるMD、プロモーション、外商施策を強化し、店舗価値向上と顧客基盤の拡大を図ってまいります。

## ●デジタルを基軸とした営業施策の強化

アプリをはじめとしたデジタル活用により、新たな顧客接点の創造や次世代顧客獲得に努めてまいります。

## ●収益基盤の多様化

グループ企業の事業強化や新規事業検討を行い、将来的に安定した収益を確保する体制を構築してまいります。

## ●経営基盤の強化

生産性の向上や、財務・資本戦略、サステナビリティ経営等を推進してまいります。

## 3. 最終年度(2027年度)の数値目標 ※収益認識会計基準等適用後

連結業績	実績	目標値	対 比
	(2024年度) ※前中計最終年度	(2027年度) ※本中計最終年度	
売上高	221 億円	227 億円	6 億円
営業利益	10 億円	11 億円	1 億円
営業利益率	4.7 %	5.0 %	0.3 %
経常利益	7 億円	9 億円	2 億円
経常利益率	3.3 %	3.9 %	0.6 %

## CSR活動基本方針

井筒屋グループは、「秩序の上に立つ創造的繁栄」を経営理念とし、CSR活動を経営の重要課題として位置づけ、地域小売業のリーディングカンパニーとして発展していくことを目指しています。私たちはESGの視点から、E：環境保全に関する活動、S：地域社会での貢献活動、G：ガバナンスの強化をそれぞれ積極的に推進し、将来にわたって持続的に取り組み、企業価値の向上に努めます。

CSR活動を推進するにあたり、下記のとおりサステナビリティ基本方針ならびにESGそれぞれの方向性や重点課題を定め、「地域共創」により持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。

## サステナビリティ基本方針

当社は、信用・信頼される百貨店として、持続可能な経済・社会の実現に向け、公平、透明かつ適正な企業活動を行うことで、全てのステークホルダーが求める価値の創造に努めてまいります。  
また、店舗周辺の河川や公園などの公共空間を活かした『環境共生型百貨店』を地域と共に創出してまいります。

## 井筒屋グループESGについて

## サステナビリティ重点課題 (ESG×SDGs)

ESG視点	方向性	重点課題	SDGs (目標)
E (環境)	環境保全と経済成長の両立による 企業価値の向上と事業基盤の強化	脱炭素社会の実現	  
		サステナブルライフの推進	  
		サプライチェーン・マネジメント	  
S (社会)	働きやすい職場環境の整備や 多様な人材が活躍できる機会の創出	地域活性化・賑わい創出	 
		ワークライフバランスの充実 ダイバーシティ&インクルージョン	   
G (ガバナンス)	コーポレートガバナンスの遵守	ガバナンス体制構築とリスクマネジメント	

当社のCSR活動につきましては、当社のHPの「企業情報CSR(サステナビリティレポート)」に掲載しております。

## 人的資本経営の取り組みについて

### 人的資本経営の考え方

当社グループは経営理念である「秩序の上に立つ創造的繁栄」を、すべての従業員が活動する上での基本的な考え方として、百貨店に求められる使命を追求し、事業を継続してまいります。そのためには「百貨店らしさの追求」が不変のテーマであると考えております。

この不変のテーマに取り組むための最も重要な要素は「人」であると捉え、人的資本への投資を通じて「人」を育み、「人」の成長と共に発展していく企業を目指してまいります。

### 人的資本投資の考え方

当社グループは、百貨店としての“質”を追求する上で、欠かせないものは「人財力」であると捉えております。

当社グループの求める「人財力」とは、主に世の中の変化に伴うお客様のニーズを見据えた企画・提案力や、お客様へ感動と共に商品を提供することのできる質の高い接客力等です。

これらの「人財力」に磨きをかけることが他小売業との差別化につながり、デジタル化が進む今日においても、百貨店ならではのより高い付加価値を生み出すことにつながるものと確信いたしております。

当社グループは、より多くの従業員の「人財力」に磨きをかけるため、従業員の学べる機会の創出を行うと共に、従業員が働きがいや幸福を感じ、安心して働き続ける職場環境を整える事に注力して人的資本投資を行ってまいります。

### 当社グループにおける経営戦略に基づいた人財戦略

#### 経営戦略

サステナビリティを基盤とした“質”の追求  
リアルとデジタルの両面から  
お客様に上質な暮らしを提案する

#### 人財戦略

人財力の強化＝人財の「質」の追求

リアル店舗戦略やデジタル戦略に掲げた経営戦略を実現するために  
当社グループが描く具体的な人財像

- ・リアル店舗戦略における人財
  - ①お客様に上質な暮らしを提案するために他社と差別化された元売場の進化、深掘りを実現できる人財
  - ②百貨店として求められる接客サービスのレベルアップに向けた指導ができる人財および自ら実践できる人財
- ・デジタル戦略における人財
  - ③デジタルを活用した新たな売上獲得施策、お客様獲得施策や最大限の業務効率化を実現できる人財

### 指標および目標

当社グループは、以下を方針として人財力の強化へ取り組みます。

方針	施策	目標値
a.人財活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍推進</li> <li>・若手社員活躍推進</li> <li>・シニア社員の活用</li> <li>・流動的な人財ポートフォリオ形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍推進</li> <li>女性管理職比率 2030年…40%以上</li> <li>・障がい者雇用</li> <li>障がい者雇用比率 2030年…3%以上</li> </ul>
b.人財育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代幹部社員の育成</li> <li>・百貨店売場人財の育成</li> <li>・学べる環境の提供</li> <li>・デジタル人財の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代幹部社員の育成</li> <li>監督職(係長)に占める30代以下の割合 2030年…30%以上</li> </ul>
c.働きやすい環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業時間などの見直し</li> <li>・健康管理体制の強化</li> <li>・従業員施設等の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業時間などの見直し</li> <li>1人当たり年間総労働時間 2030年…1,900時間以内</li> <li>・健康管理体制の強化</li> <li>健康診断受診率・再受診率 100%継続</li> </ul>

※目標は(株)井筒屋(本社)の数値

当社の人的資本経営の取り組みにつきましては、当社のHPの「企業情報CSR(サステナビリティレポート)」に掲載しております。

## 財産および損益の状況の推移(連結)

区 分	第127期 ( 2021年3月から 2022年2月まで )	第128期 ( 2022年3月から 2023年2月まで )	第129期 ( 2023年3月から 2024年2月まで )	第130期 ( 2024年3月から 2025年2月まで )
売 上 高 (百万円)	53,144	22,573	22,521	22,158
経 常 利 益 (百万円)	1,047	1,075	947	741
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (百万円)	1,171	1,019	966	999
1株当たり当期純利益 (円)	102.21	88.95	84.97	88.40
総 資 産 (百万円)	47,300	46,343	45,680	44,495
純 資 産 (百万円)	9,029	10,111	10,966	11,921

※1株当たり当期純利益は、期中平均株式数から期中平均自己株式数を控除した株式数により算出しております。

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第128期の期首から適用しており、主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等になっております。



## 連結子会社 (2024年3月1日から2025年2月28日まで)

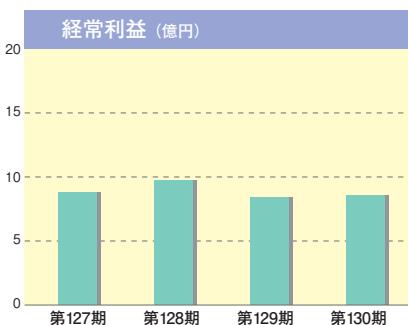
- (株) 山口井筒屋
- (株) レストラン井筒屋
- (株) 井筒屋友の会
- (株) 井筒屋商事

## 財産および損益の状況の推移(個別)

区 分	第127期 ( 2021年3月から 2022年2月まで )	第128期 ( 2022年3月から 2023年2月まで )	第129期 ( 2023年3月から 2024年2月まで )	第130期 ( 2024年3月から 2025年2月まで )
売 上 高 (百万円)	46,449	18,836	18,952	18,660
経 常 利 益 (百万円)	889	983	844	855
当 期 純 利 益 (百万円)	1,006	995	862	1,120
1株当たり当期純利益 (円)	87.88	86.91	75.82	99.11
総 資 産 (百万円)	44,509	43,681	43,016	42,189
純 資 産 (百万円)	7,374	8,307	9,059	10,122

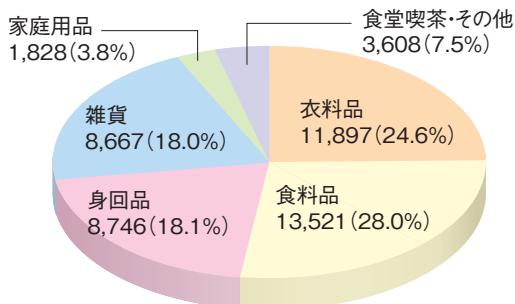
※1株当たり当期純利益は、期中平均株式数から期中平均自己株式数を控除した株式数により算出しております。

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第128期の期首から適用しており、主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等になっております。



## 商品別売上高(個別) (2024年3月1日から2025年2月28日まで)

### 商品別売上高(単位:百万円)



※売上高数値におきましては、収益認識会計基準等適用前の値を記載しております。

## 財務諸表(連結)

### ● 連結貸借対照表(単位:百万円)

資産の部	第128期 (2023年2月期)	第129期 (2024年2月期)	第130期 (2025年2月期)
<b>流動資産</b>	<b>7,952</b>	<b>7,635</b>	<b>7,056</b>
現金及び預金	3,660	3,404	2,774
受取手形及び売掛金	1,797	1,766	1,856
商品	2,058	2,052	2,073
貯蔵品	19	20	21
その他	415	390	331
貸倒引当金	△ 0	△ 0	—
<b>固定資産</b>	<b>38,391</b>	<b>38,044</b>	<b>37,438</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>34,389</b>	<b>33,648</b>	<b>32,821</b>
建物及び構築物	9,968	9,220	8,475
土地	24,011	24,011	24,011
リース資産	67	121	113
建設仮勘定	0	3	—
その他	340	291	221
<b>無形固定資産</b>	<b>213</b>	<b>532</b>	<b>688</b>
リース資産	71	376	457
ソフトウェア仮勘定	69	38	—
その他	71	118	231
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,788</b>	<b>3,863</b>	<b>3,928</b>
投資有価証券	1,512	1,553	1,399
差入保証金	1,418	1,418	1,417
繰延税金資産	374	405	683
その他	537	540	481
貸倒引当金	△ 54	△ 54	△ 54
<b>資産合計</b>	<b>46,343</b>	<b>45,680</b>	<b>44,495</b>

負債の部	第128期 (2023年2月期)	第129期 (2024年2月期)	第130期 (2025年2月期)
<b>流動負債</b>	<b>25,971</b>	<b>25,561</b>	<b>24,772</b>
支払手形及び買掛金	4,116	4,186	3,948
短期借入金	11,333	11,333	11,333
リース債務	59	144	163
未払法人税等	10	10	11
前受金	3,087	3,008	2,995
賞与引当金	58	59	56
設備関係支払手形	77	156	80
契約負債	4,417	4,106	3,855
その他	2,810	2,554	2,326
<b>固定負債</b>	<b>10,260</b>	<b>9,151</b>	<b>7,801</b>
長期借入金	5,176	3,842	2,508
リース債務	79	353	406
再評価に係る繰延税金負債	3,278	3,278	3,278
商品券回収損失引当金	618	616	582
退職給付に係る負債	748	678	620
役員株式給付引当金	—	7	16
従業員株式給付引当金	—	7	15
資産除去債務	248	269	257
預り保証金	81	99	104
その他	30	—	11
<b>負債合計</b>	<b>36,231</b>	<b>34,713</b>	<b>32,574</b>

### 純資産の部

<b>株主資本</b>	<b>4,724</b>	<b>5,578</b>	<b>6,521</b>
資本金	100	100	100
資本剰余金	924	924	924
利益剰余金	3,727	4,637	5,579
自己株式	△ 27	△ 82	△ 82
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>5,387</b>	<b>5,387</b>	<b>5,399</b>
その他有価証券評価差額金	17	20	21
土地再評価差額金	5,362	5,362	5,362
退職給付に係る調整累計額	7	4	15
<b>純資産合計</b>	<b>10,111</b>	<b>10,966</b>	<b>11,921</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>46,343</b>	<b>45,680</b>	<b>44,495</b>

## ● 連結損益計算書 (単位:百万円)

	第128期 (2023年2月期)	第129期 (2024年2月期)	第130期 (2025年2月期)
売上高	22,573	22,521	22,158
売上原価	11,249	11,210	10,984
売上総利益	11,323	11,311	11,173
販売費及び一般管理費	10,146	10,313	10,133
営業利益	1,177	998	1,040
営業外収益	436	463	289
受取利息	0	0	1
受取賃貸料	65	65	65
協賛金収入	22	19	6
未回収商品券受入益	184	180	147
持分法による投資利益	17	40	—
システム導入負担金収入	—	40	—
助成金収入	86	—	—
その他の	59	118	68
営業外費用	537	514	589
支払利息	317	281	259
持分法による投資損失	—	—	152
商品券回収損失引当金繰入額	124	137	105
その他の	95	95	72
経常利益	1,075	947	741
特別利益	—	—	2
特別損失	—	—	—
税金等調整前当期純利益	1,075	947	743
法人税、住民税及び事業税	10	10	11
法人税等調整額	45	△30	△267
当期純利益	1,019	966	999
親会社株主に帰属する当期純利益	1,019	966	999

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	第128期 (2023年2月期)	第129期 (2024年2月期)	第130期 (2025年2月期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,011	1,912	1,369
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	13	△ 608	△ 421
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,968	△ 1,571	△ 1,578
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	56	△ 268	△ 630
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,604	3,660	3,392
VI 現金及び現金同等物の期末残高	3,660	3,392	2,762

## ● 連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円) (2024年3月1日から2025年2月28日まで)

項目	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期末高	100	924	4,637	△82	5,578	20	5,362	4	5,387	10,966
当期変動額										
剰余金の配当			△57		△57					△57
親会社株主に帰属する当期純利益			999		999					999
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1		11	12	12
当期変動額合計	—	—	942	△0	942	1	—	11	12	954
当期末高	100	924	5,579	△82	6,521	21	5,362	15	5,399	11,921

## 財務諸表(個別)

### ● 貸借対照表(単位:百万円)

資産の部	第128期 (2023年2月期)	第129期 (2024年2月期)	第130期 (2025年2月期)
<b>流動資産</b>	<b>7,108</b>	<b>6,808</b>	<b>6,223</b>
現金及び預金	3,581	3,319	2,694
受取手形	5	6	32
売掛金	1,598	1,528	1,590
商品	1,590	1,620	1,633
貯蔵品	15	17	19
その他	316	316	253
貸倒引当金	△ 0	△ 0	—
<b>固定資産</b>	<b>36,572</b>	<b>36,207</b>	<b>35,966</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>34,273</b>	<b>33,554</b>	<b>32,749</b>
建物	9,846	9,117	8,392
構築物	34	29	25
什器備品	313	271	206
土地	24,011	24,011	24,011
リース資産	67	121	113
建設仮勘定	0	3	—
<b>無形固定資産</b>	<b>205</b>	<b>524</b>	<b>680</b>
リース資産	71	376	457
ソフトウェア	27	74	187
電話加入権	35	35	35
ソフトウェア仮勘定	69	38	—
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,093</b>	<b>2,128</b>	<b>2,536</b>
投資有価証券	96	96	94
関係会社株式	81	81	81
長期貸付金	3,431	3,394	3,537
差入保証金	203	203	202
繰延税金資産	356	383	656
その他	460	464	406
貸倒引当金	△2,535	△2,495	△2,442
<b>資産合計</b>	<b>43,681</b>	<b>43,016</b>	<b>42,189</b>

負債の部	第128期 (2023年2月期)	第129期 (2024年2月期)	第130期 (2025年2月期)
<b>流動負債</b>	<b>25,486</b>	<b>25,094</b>	<b>24,466</b>
支払手形	28	24	23
買掛金	3,507	3,556	3,371
短期借入金	17,233	17,233	17,233
リース債務	59	144	163
未払法人税等	10	9	9
預り金	1,613	1,292	1,211
賞与引当金	50	51	48
設備関係支払手形	77	156	80
契約負債	593	606	490
その他	2,311	2,019	1,831
<b>固定負債</b>	<b>9,887</b>	<b>8,862</b>	<b>7,601</b>
長期借入金	4,772	3,538	2,304
リース債務	79	353	406
再評価に係る繰延税金負債	3,278	3,278	3,278
退職給付引当金	720	648	603
債務保証引当金	87	91	79
商品券回収損失引当金	618	616	582
役員株式給付引当金	—	7	16
従業員株式給付引当金	—	7	15
資産除去債務	226	248	235
預り保証金	73	73	78
その他	30	—	—
<b>負債合計</b>	<b>35,373</b>	<b>33,956</b>	<b>32,067</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>2,937</b>	<b>3,687</b>	<b>4,751</b>
資本金	100	100	100
資本剰余金	924	924	924
資本準備金	924	924	924
利益剰余金	1,940	2,745	3,809
その他利益剰余金	1,940	2,745	3,809
繰越利益剰余金	1,940	2,745	3,809
自己株式	△ 27	△ 82	△ 82
<b>評価・換算差額等</b>	<b>5,370</b>	<b>5,371</b>	<b>5,371</b>
その他有価証券評価差額金	8	9	9
土地再評価差額金	5,362	5,362	5,362
<b>純資産合計</b>	<b>8,307</b>	<b>9,059</b>	<b>10,122</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>43,681</b>	<b>43,016</b>	<b>42,189</b>

## ● 損益計算書(単位:百万円)

	第128期 (2023年2月期)	第129期 (2024年2月期)	第130期 (2025年2月期)
売上高	18,836	18,952	18,660
売上原価	8,746	8,852	8,714
売上総利益	10,089	10,100	9,945
販売費及び一般管理費	8,911	9,120	8,935
営業利益	1,178	979	1,009
営業外収益	517	554	462
受取利息	53	58	67
貸倒引当金戻入益	—	35	53
債務保証引当金戻入益	6	—	12
協賛金収入	22	18	6
助成金収入	69	—	—
システム導入負担金収入	—	40	—
その他の収益	365	401	323
営業外費用	712	689	616
支払利息	473	434	412
その他の費用	239	254	203
経常利益	983	844	855
特別利益	—	—	2
特別損失	—	—	—
税引前当期純利益	983	844	857
法人税、住民税及び事業税	10	9	9
法人税等調整額	△22	△27	△272
当期純利益	995	862	1,120

## ● 株主資本等変動計算書(単位:百万円) (2024年3月1日から2025年2月28日まで)

項目	株主資本						評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	其他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金		評価・換算 差額等 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	其他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計						
当期首残高	100	924	924	2,745	2,745	△82	3,687	9	5,362	5,371	9,059
当期変動額											
剰余金の配当				△57	△57		△57				△57
当期純利益				1,120	1,120		1,120				1,120
自己株式の取得						△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								△0		△0	△0
当期変動額合計	—	—	—	1,063	1,063	△0	1,063	△0	—	△0	1,063
当期末残高	100	924	924	3,809	3,809	△82	4,751	9	5,362	5,371	10,122



本店 〒802-8511  
北九州市小倉北区船場町1番1号  
電話(093)522-3111



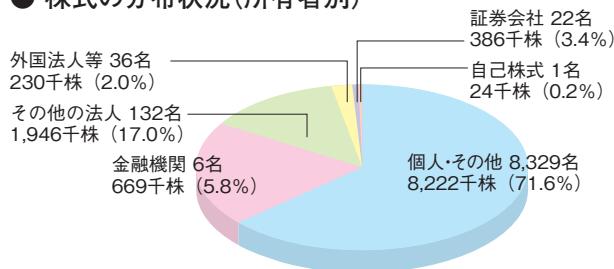
山口店 〒753-0086  
山口県山口市中市町3番3号  
電話(083)902-1111

- 北九州空港店 北九州市小倉南区空港北町6番  
〒800-0306 電話(093)475-0102
- 守恒ショップ 北九州市小倉南区守恒一丁目11番25号  
〒802-0972 電話(093)963-4370
- 下曾根駅前ショップ 北九州市小倉南区下曾根新町10番1号  
〒800-0221 電話(093)475-5671
- 二島ショップ 北九州市若松区二島一丁目3番1号  
〒808-0103 電話(093)701-0655
- 高須ショップ 北九州市若松区高須南二丁目2番1号  
〒808-0145 電話(093)741-3286
- イオンタウン黒崎ショップ 北九州市八幡西区西曲里町3番1号  
〒806-0036 電話(093)643-5111
- 三ヶ森ショップ 北九州市八幡西区三ヶ森三丁目9番1号  
〒807-0843 電話(093)613-3001
- 中間ショップ 福岡県中間市蓮花寺一丁目2番  
〒809-0014 電話(093)246-2000
- 直方ショップ 福岡県直方市知古756  
〒822-0022 電話(0949)24-0311
- イオンモール直方ショップ 福岡県直方市湯野原二丁目1番1号  
〒822-0008 電話(0949)28-7390
- 田川ショップ 福岡県田川市日の出町1番3号  
〒825-0012 電話(0947)45-2785
- 苅田ショップ 福岡県京都郡苅田町殿川町1番7号  
〒800-0312 電話(093)436-2100
- ゆめタウン行橋ショップ 福岡県行橋市西宮市三丁目8番1号  
〒824-0031 電話(0930)28-8273
- 飯塚ショップ 福岡県飯塚市菰田西三丁目6番1号  
〒820-0017 電話(0948)22-3130
- 宗像ショップ 福岡県宗像市くりえいと一丁目5番1号  
〒811-4184 電話(0940)35-6132
- 中津ショップ 大分県中津市蛭子町三丁目99番地  
〒871-0065 電話(0979)23-8555
- 周南ショップ 山口県周南市銀南街33番地  
〒745-0031 電話(0834)33-1228
- 宇部ショップ 山口県宇部市黒石北三丁目4番1号  
〒759-0213 電話(0836)39-8887

● 株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	11,480,495株
一単元の株式の数	100株
株主数	8,526名

● 株式の分布状況(所有者別)



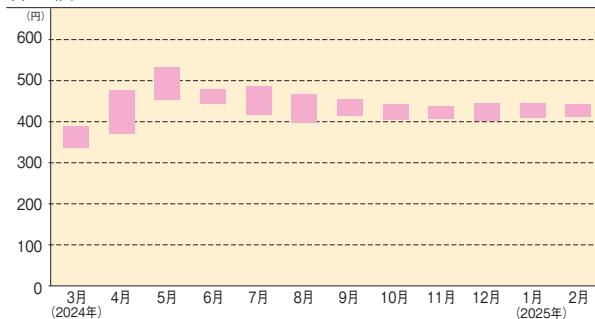
● 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
青柳和洋	1,346千株	11.8%
井筒屋共栄持株会	1,075	9.4
西日本鉄道株式会社	1,052	9.2
ガバナンス・パートナーズ 投資事業有限責任組合	901	7.9
投資事業有限責任組合 ガバナンス・パートナーズ経営者ファンド	321	2.8
上野投資株式会社	260	2.3
重田忠久	223	2.0
日本証券金融株式会社	202	1.8
井筒屋社員持株会	152	1.3
上田勝也	150	1.3
合計	5,685株	49.6%

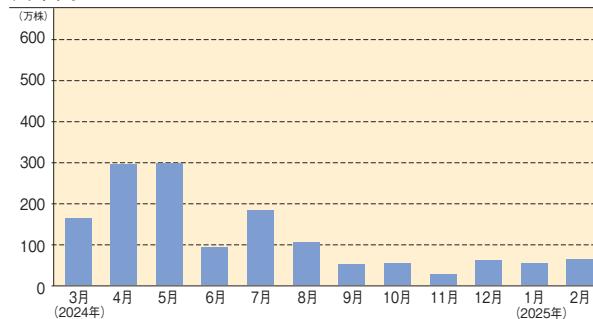
(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 なお、自己株式には株式給付信託(BBTおよびJ-ESOP)に関して信託が保有する当社株式147,000株は含まれておりません。

● 株価および出来高の推移

株価



出来高



## 会社の概要 (2025年2月28日現在)

□ 設 立 1935年7月30日  
 □ 開 店 1936年10月6日  
 □ 資 本 金 100,000,000円

□ 事業内容 百貨店事業  
 □ 本 社 北九州市小倉北区船場町1番1号  
 電話 (093) 522-3111

## 従業員の状況 (2025年2月28日現在)

### □ 井筒屋グループの従業員の状況

事業の種類別の区分	従業員の数	前期末増減
百貨店業	668名	27名減
友の会事業	1名	増減なし

### □ 株式会社井筒屋の従業員の状況

区 分	従業員の数	前期末増減	平均年齢	平均勤続年数
男 性	212名	増減なし	54.8歳	19.8年
女 性	349名	19名減	48.8歳	17.5年
合計または平均	561名	19名減	51.0歳	18.3年

## 取締役、監査役および執行役員 (2025年5月22日現在)

### ● 取締役

代表取締役 松本 圭  
 取 締 役 影山英雄  
 取 締 役 吉田 功  
 取 締 役 大森俊介  
 取 締 役 窪田弥生 社外 独立  
 取 締 役 吉田 透 社外 独立

### ● 監査役

常勤監査役 細迫有文  
 監 査 役 梅田久和  
 監 査 役 嘉藤晃玉 社外  
 監 査 役 吉岡雅之 社外 独立

### ● 執行役員

会長執行役員 影山英雄  
 社長執行役員 松本 圭  
 常務執行役員 吉田 功  
 執行役員 大森俊介  
 執行役員 高橋昭一  
 執行役員 市原進二

## I. 『株主お買物優待券』について

### 1. ご優待券の発行基準

2月末日および8月末日現在、100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおりお買物優待券を発行いたします。

100株以上	300株未満	10枚
300株以上	500株未満	20枚
500株以上	1,000株未満	30枚
1,000株以上		50枚

### 2. 取扱店舗

本店、山口店、井筒屋サテライトショップ各店

### 3. 有効期限(今回発行分)

2025年11月30日まで有効

### 4. ご優待方法

①上記各店舗で現金による本体価格2,000円以上のお買物(適用除外品目および売場を除く)1回につき、消費税を含むお買物代金の7%を割引いたします(ただし、割引額の1円未満は切り捨て)。

なお、お支払いにつきましては現金、井筒屋商品券(井筒屋・井筒屋グループ発行の商品券)、井筒屋ギフトカードのほか、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカードに限ります。

②1回のお買物につき優待券1枚のご使用となります。

③適用除外品目および売場

- 商品券、各種ギフトカード・進物券
- はがき、切手、印紙、クオカード、図書カード、前売券、各種回数券
- 金・白金の地金、住宅(含関連工事)、保険料、駐車料金、荷具送料
- ルイ・ヴィトン、ロレックス、ティファニー、シャネル、ビューティアンドユースユナイテッドアローズ、アーバンリサーチ、その他一部のブランドおよびショップ
- 家電売場、旅行センター、ブックセンタークエスト、モンベル、カフェコムサ、ボーコンセプト
- 代金引換配送、掛売入金および各種優待券との併用使用(友の会券・カード、ウィズカードとの併用はできません)
- 正札よりの割引商品
- その他特に指定したもの

なお、適用除外品目および売場につきましては、予告なく変更させていただきます場合もございますので、予めご了承ください。

※詳しくは店頭にて係員にお尋ねください。

### 5. ご注意

- (1)本券は他人に譲渡・売買をされた場合は無効といたします。
- (2)本券ご利用には、ご署名欄に株主様ご本人の署名が必要です。株主様確認をさせていただく場合がございますこと、ご了承ください。

本券には株主ナンバーを付しております。

- (3)本券は非居住者である外国人旅行者等を対象とした消費税免税を受けるお買物には、株主様ご本人を除きご利用いただけません。
- (4)本券を紛失された場合、再発行はいたしません。

### 6. お願い

ご利用の際には株主様のご署名をお願いいたします。

## II. インターネットショッピング『井筒屋オンライン』でのお買物優待割引について

### 1. ご優待内容

#### ①ご優待の基準

2月末日および8月末日現在、100株以上ご所有の株主様に対し一律。

#### ②ご優待方法

インターネットショッピング『井筒屋オンライン』でのお買物(適用除外品目および売場を除く)1回につき、消費税を除くお買物代金の7%を割引いたします(ただし、割引額の1円未満は切り捨て)。

なお、お支払いにつきましては、クレジットカード1回払いでのご決済のみとなります。

### 2. 有効期限(今回対象分)

2025年11月30日まで有効

※有効期限までは何度でもお買物にご利用いただけます。

### 3. ご利用方法

インターネットショッピング『井筒屋オンライン』(<http://www.izutsuya-online.co.jp/>)にアクセスすることでご利用いただけます。詳細につきましては本書同封の「株主ご優待制度のご案内」をご参照ください。

### 4. 適用除外品目および売場

前記I.『株主お買物優待券』についての4.ご優待方法の③に記載の適用除外品目および売場に同じです。

### 5. ご注意

- (1)株主様ご本人の個人クレジットカード名義でのお買物に限らせていただきます。
- (2)株主お買物優待券のご提示やご郵送の必要はございません。
- (3)株主お買物優待券の他、各種特典割引との併用はできません。
- (4)送料につきましては、割引の対象となりませんのでご了承ください。

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
剰余金の配当受領株主確定日	2月末日 その他取締役会決議により定める日
基準日	定時株主総会関係 2月末日 その他あらかじめ公告して定める日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※貸借対照表および損益計算書につきましては、以下のアドレスに掲載しております。 <a href="http://www.izutsuya.co.jp/">http://www.izutsuya.co.jp/</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵送物送付先・電話お問合せ先	

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。  みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

上場証券取引所	東京・福岡
証券コード	8260
ホームページアドレス	<a href="http://www.izutsuya.co.jp/">http://www.izutsuya.co.jp/</a>

## ホームページのご案内

ホームページアドレス <http://www.izutsuya.co.jp/>

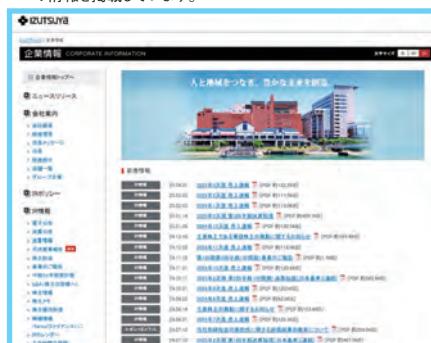
### ■井筒屋 TOP PAGE



井筒屋ホームページは、毎週の催物やサービス・施設のご案内から企業・投資家情報まで掲載しております。手軽にご家庭でもショッピングをお楽しみいただけます。

### ■企業・投資家情報

決算情報、株式の状況、ニュースリリースなど投資家の皆様への情報を掲載しています。



### ■井筒屋各店舗の最新情報

お買得情報やイベント情報、新着商品のご案内など、毎週お得な情報を満載してお届けしています。



### ■オンラインショッピング

ギフト商品や話題の商品を自宅であつた、ネットショッピングできるオンラインモールです。



### ■WEB会員サービス



### ■WEBチラシ



※当画面情報は本紙作成時点のものです。





IZUTSUYA